

2019(令和元)年度

事業報告

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

公益社団法人京都染織文化協会

2019(令和元)年度 事業報告

1. 会員の加入及び退会

	期首	加入	退会	期末
会員数	43	0	2	41

加入商社：なし

退会商社：中敏(株)、(株)トキワ商事

2. 会務

■第71期通常総会

平成31年 5月24日	ホテルモントレ京都	<ol style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告承認の件 平成30年度決算報告承認の件 2019(令和元)年度事業計画(案)承認の件 2019(令和元)年度収支予算(案)承認の件 役員改選の件 その他
----------------	-----------	---

■理事会

平成31年 4月18日	京都経済センター	<ol style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告の件 平成30年度収支決算報告の件 その他
----------------	----------	---

5月29日	書面決議	1. 理事長、副理事長及び常務理事の選任について
-------	------	--------------------------

7月12日	書面決議	1. 2019年(令和元年)度補正予算承認の件
-------	------	-------------------------

8月26日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> 【公益事業に関わる助成事業】KPA 京都プリント振興協会主催『メイキング・ワークショップ 2020』に対する当協会の共催名義使用許可並びに助成金(50万円)の交付承認について 【会員事業に関わる助成事業】①浅見(株)『こども Kimono Clover ブランド PR 事業』に対する助成金申請(33.48万)に対し同額の交付初認について②近江屋(株)『きもの素材国内・海外販路開拓事業』に対する助成金申請(101.2万)に対し助成金(83.73万)の交付承認について
-------	------	---

令和2年 3月5日	書面決議 (新型コロナウイルス感染防止のため)	<ol style="list-style-type: none"> 定期預金満期に伴う一部普通預金移行の件 令和2年度事業計画(案)の件 令和2年度収支予算(案)の件 代表・業務執行理事の職務執行報告の件 第72期通常総会日程の件(5月27日於：京都ホテルオークラ) 80周年記念事業の件 令和2年度役員の件 賃金規程改訂の件
--------------	----------------------------	--

3. 実施事業

■公益事業

(1) 染織文化資源の保全と啓発事業

当協会が基本財産に位置付ける「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、これら所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

* 「染織祭」の詳細調査並びに公開

当事業は、昭和6年～26年に挙行された染織祭について北野裕子氏（龍谷大学社会科学研究所客員研究員）に調査を依頼し、現存する史料や文献、ヒアリングなどから当時の社会・経済背景、染織祭挙行の経緯、衣装制作の詳細を明らかにすることで、いまだ認知の薄い染織祭と復元女性時代衣装の存在を一般に広く知ってもらい、染織文化・染織技術を継承する目的で取り組んでおり、今年度は次の通り調査を行った。

<今年度調査先>

- ・ 文献調査—龍谷大学大宮・深草図書館、京都府立図書館、京都府立京都学・歴彩館
- ・ 資料調査—京都繊維工芸大学美術工芸資料館、京都市立芸術大学資料館

<調査成果の公開>

- ・ 染織祭の経緯と功績を一般の方々にわかりやすく伝えるためウェブサイト上に「コラム」を新設し、12回に亘り公開した。
- ・ 北野氏執筆による論文「京都・染織祭の創設と展開—昭和恐慌・大衆消費社会・産業観光振興の交点」を京都大学人文科学研究所発刊『人文学報』にて発表し、その冊子を学術研究者等関係先に送付し啓発した。
- ・ 昭和9年に京都市観光課が制作した第4回染織祭ポスターが京都繊維工芸大学美術工芸資料館に所蔵されていることがわかり、所蔵経緯をヒアリングするとともに、画像提供の協力を頂いた。
- ・ 3/29開催の龍谷大学地域産業政策研究会において北野氏より調査報告を行った。
- ・ 調査により明らかになった内容はウェブサイト並びにweb上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』に追加掲載して一般社会に啓発した。

* 染織祭衣装台帳のデータベース化

手書きで作成されている143領分の衣装台帳をデジタルデータに移行し、併せて衣装のあらゆる情報を一括にまとめ端末上で管理する環境を整備するため、今年度は次の通り取り組んだ。

<台帳の情報>

時代／階級(役割)／号数／着装構成／各構成物の名称と技術／各構成物の写真／各構成物

の傷み度／傷み度に関する備考

<今年度の取組み>

- ・全台帳のテキストデータを作成した。
- ・劣化状態の最新情報を反映するため、奈良・平安・室町・桃山の衣装 74 領の再調査を行った。

* 染織祭関係史料の公開

当協会が保管する染織祭関係史料データをウェブサイト上で公開した。

<今年度公開史料>

染織祭式典行列執行日調(昭和6年以降) 3 ページ

備品台帳(昭和6年3月) 5 ページ

* 染織技術アーカイブの作成に伴う資料調査と公開

当事業は所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容をウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で行っており、今年度は次の通り公開した。

※染織祭衣装は平成29年度をもってすべて公開済。

(新規公開内容)

「全国染織産地合同制作布地」／2003・2004 年秋・冬物向布地 11 点

公開技術「織 る」…… 縹子織、絡み織、綾織

「染める」…… 顔料プリント

「装飾・加工」…… シルキー加工

「特殊技術」…… ガラス素材、スパークナイロン、生分解繊維、ハイブリッドシルク

* 染織祭衣装の補修・修繕並びにレプリカ制作

■ 補修・修繕

当協会が設定する「傷みの5段階評価」に基づき、次の通り補修を依頼した。

<対象衣装>

鎌倉時代 9号「桂」

<依頼先>

松下装束店(京都市中京区)

■ レプリカ制作

衣装の劣化に伴う将来の備えとして、また職人による技術復興・継承の機会として複製の制作を行った。

<対象衣装>

①室町時代 12号「石畳取草花文様小袖」(辻が花小袖)

※平成30年度日本芸術文化振興基金助成金対象事業

②安土桃山時代6号「垣に桜紫陽花文様小袖」(慶長小袖)

※平成31年度芸術文化振興基金、令和元年度(一財)京都染織会館助成金対象事業

<協力先>

京鹿の子絞振興協同組合

京都刺繍協同組合

<今年度作業>

- ・平成30年度に作業が完了しなかった①については、2019年10月に完成した。
- ・②は金彩、刺繍作業を経て2020年3月に完成した。
- ・「伝統産業の日 匠エキスポ」(2020.3/14-15 於：みやこめっせ)において新旧衣装の展示公開を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベント自体が中止となった。

* 所蔵資料貸付協力

(染織祭衣装)

◎衣装貸付協力

- ・奈良県立美術館主催「生誕125年・没後40年 吉川観方—日本文化へのまなざし—」
会 期 9月28日(土)～11月17日(日)9:00～17:00
会 場 奈良県立美術館(奈良市登大路町10-6)
協 力 室町時代衣装 合計2点
入場者 9,870名

◎画像提供協力

①四条繁栄会商店街振興組合「情報誌京都 四条」への画像提供

発行日 6月22日

提供画像 染織祭行列

使用目的 「四条まちなか歳時記」をテーマにした四条界隈の伝統行事の紹介。

②西東社「面白いほどよくわかる!家紋と名字」への画像提供

発行日 12月20日

提供画像 鎌倉時代衣装 1点

使用目的 亀甲文様を用いた衣装例としての画像使用

③講談社「タテ割り日本史」への画像提供

発売日 令和2年3月16日

提供画像 室町時代衣装 1点

使用目的 染織技術の例としての画像使用

(2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で次の事業に取り組んだ。

* 子ども向け染織技術啓発冊子の配布

きものをより身近な衣料として受け止めてもらうと共に、きものには様々な技術が使われていることをわかりやすく伝え染織技術の一端を知ってもらうことを目的に小冊子を制作し、子どもが初めてきものを着るシーンである十三まいり、七五三詣りにおいて次の通り配布した。

<配布先>

- ◎十三まいり 日 時 4月6日(土)
配布場所 ご清遊の宿らんざん(嵐山)
配布先 京都織物卸商業組合(以下織商)主催の十三まいりきもの着付希望者のうち25名に配布
- ◎七五三詣り 日 時 11月9日(土)
配布場所 平安神宮
配布先 織商主催の七五三詣り参詣者178名に配布

* 染織文化セミナーの開催

◎「ムカシアルバムにみる明治・大正・昭和のきもの」

- 日 時 11月12日(火)14:00~16:00
会 場 からすま京都ホテル2階 双舞の間
講 師 佐藤 節子 氏(染色家)
内 容 明治~昭和時代の着こなしや流行を写真と共に紹介。
受講料 無 料
広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付
(一般)10/17 京都新聞夕刊に広告掲載、当協会ウェブサイト、フェイスブックで告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 62名

◎「江戸時代の旅と装い—浮世絵と古川柳でたどる東海道—」

- 日 時 令和2年3月6日(金)14:00~16:00
会 場 からすま京都ホテル2階 双舞の間
講 師 金森 敦子氏(歴史家・作家)
内 容 江戸から伊勢までの旅を浮世絵と古川柳を用いて語り、旅の装いを紹介。

受講料 無料

広報 (会員・関係団体・美術館等) 当協会より案内送付

(一般) 2/17 京都新聞朝刊に広告掲載、当協会ウェブサイト、フェイスブックで告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 31名 ※申込時 64名

*インターネットミニ染織講座の開催

当協会ウェブサイト内において、衣装レプリカ制作工程を撮影した動画を制作し、インターネット動画共有サービス『YouTube』にアップロードし相互リンクして当協会ウェブサイトの閲覧を促した。

◎衣装複製制作プロジェクトシリーズ

- ①「桃山時代6号 金彩工程」(更新日:6月17日)
- ②「桃山時代6号 刺繍(下絵)工程」(更新日:8月5日)
- ③「桃山時代6号 刺繍工程」(更新日:令和2年2月12日)

(3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規定に基づき次の事業への助成を行った。

◎新庄亀綾織伝承協会「京都・新庄亀綾織お披露目会」への共催

会 期 4月10日(水)~16日(火)10:00~19:00

会 場 きものステーション京都(下京区四条室町 京都経済センター1階)

内 容 幻の織物と言われた新庄亀綾織を復興し、完成度を高めて提案するとともに、新庄亀綾織の歴史や復興過程を一般の人々に見てもらい認知度を高める目的で開催した。当協会からは共催名義使用許可、助成金40万円の交付を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会「メイキング・ワークショップ2020」への共催

会 期 9月20日(金)~21日(土)10:00~18:00※最終日17:00

会 場 京都府京都文化博物館別館(中京区三条高倉)

出展者 15社 25組

内 容 染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。今回は「SIMPLE&COLOR」をテーマに装飾性の高いプリントを訴求し、色・プリント技術での意匠表現に挑戦したプリント服地の提案を行った。当協会からは共催名義使用許可、助成金50万円の交付並びに京都染織文化協会理事長賞の下付を行った。

入場者数 2,294名

■会員事業

* 会員のための啓発事業

◎展覧会招待(年2回)

<招待展覧会>

- ・「浮世絵コレクション」(8/10～9/29 大阪市美術館)
- ・「聖地をたずねて—西国三十三所信仰と至宝—」(7/23～9/13 京都国立博物館)

* 京都プレス事業

当事業は染織品の発展と更なる需要を促すために、伝統的な染織技術と先端技術を融合させた新しい素材の開発と加工に取り組み、市場での反応を調査した後、その技術と情報を会員商社にフィードバックする目的で行っている。今年度は和装素材の新しい提案としてシルクオパール糸の開発並びに試織を、蚕糸科学研究所、京都市産業技術研究所、京都府織物・機械金属振興センターの協力により、引き続き取り組んだ。

* 会員助成事業

歴史ある染織技術を継承し発展することを目的に、会員の企業活動に対する助成金拠出について助成規定に基づき募集を行い、第4回理事会において次の通り承認された。

◎浅見㈱「“こども Kimono clover” ブランド PR 事業」

内 容 普段使いの子供用着物を開発。幼い頃から着物に慣れ親しむことで次代の着物人口の増加、着物文化の継承に寄与する取組みとして、ブランド PR への助成を申請。

決定額 33.48 万円(報告後の拠出額 330,333 円)

◎近江屋㈱「きもの素材国内・海外販路開拓事業」

内 容 伝統的技術と現代的デザインを繋げることを目的とし、海外の感度に合う染織アイテムを選択・制作し国内外の3つのファッションイベントにおいて、展示、商談する取組み。伝統技術の継承に寄与する取組みとして、展示会経費の助成を申請。

決定額 83.73 万円